

## ■ 金 俊来 / Kimu Junrae

### ● 略歴

1979年 韓国生まれ  
現 在 京都市立芸術大学大学院  
美術研究科博士課程漆工専攻 在学中

### ● 受賞

2014年 「次世代工芸展」審査員建島哲賞  
2014年 芸文京展 入選  
2015年 ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION 2015 入賞

### ● グループ展／公募展

2013年 Re:Craft展  
2013年 清州国際アートフェア、韓国  
2013年 会津まちなかアートプロジェクト  
2013年 次世代工芸展  
2013年 尺トリ遊び展  
2014年 「漆のかたち2014」展  
2014年 三菱商事アート、ゲートプログラム奨学生展  
2014年 会津まちなかアートプロジェクト  
2014年 次世代工芸展  
2014年 芸文京展  
2015年 漆芸の未来を拓—生新の時2015

### ● 個展

2014年 From sun to child: 美しい漆の世界へ

毎日新しいものが生まれ、変わってゆく今の時代。  
**毎** 伝統が持つ意味とイメージも大きく変化しています。伝統は単に守られるべき対象ではなく、新たに解釈し発展させなければならない文化的アイコンとして認識されるようになってきています。

このような時代の流れの中で、漆はどのような形を持たなければならないのか。時代に合った新しい解釈の必要性のため、漆に関わる作家・職人は伝統技法を生かし、同時に新たな試みを通じて、漆の可能性を探求しています。

漆といえば、つやのある黒い表面に蒔絵や螺鈿などで装飾されたとても高級な工芸品のイメージをもつ素材です。しかしながら、その技法は黒や赤漆以外に絵画的な表現力を持っている技法もたくさんあります。私はその多彩な塗り技法を生かし、既存のイメージにとらわれず、カラフルなイメージの作品を制作しており、漆が持つ表現力の可能性を広げていきたいと考えています。



『お花を食べている鯨さん』

木に漆

2014年 45×38cm

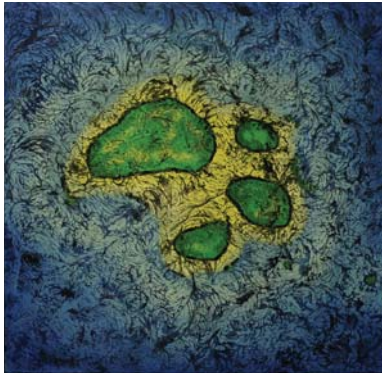
表紙作家レビュー No.40 COVER ARTIST REVIEW



『ガウンちゃんのシャンプー玉のお花』  
木に漆 42×42cm  
2013年



『幸せということは』  
木に漆 40.2×34.1cm  
2014年



『半径8kmのある島』  
木に漆 45×38cm  
2014年



『甥を嫌がる二匹の猫たち』  
木に漆 45×38cm  
2014年



『胎動』  
木に漆 42.3×42.3cm  
2015年



『キリンさんが来た日』  
木に漆 45×38cm  
2014年

- アイアートでは、毎回、オークションカタログのカバーを新進気鋭の日本人アーティストの発表の場として公開していきたいと考えております。日本美術の礎を築きあげた先人の芸術と「いま」の時代との表現のコラボレーションを感じて頂きたいです。